

～巻頭言～

平和と口づけする正義

慈しみとまことは出会い 正義と平和は口づけし
まことは地から萌えいで 正義は天からそそがれます。

(詩編 85:11-12)

13 日未明にイスラエルがイラクに激しい攻撃を開始した報道に驚きました。終結が近いかと期待していたので、収まるどころか劇化したことに驚きつつ、思い出したことがありました。140 か国以上の戦場を廻り見てきた、写真家の桃井和馬さんが言われていたことです。「正義の反対は悪だと思っている人が多いが、悪ではない。お互いが自分の正義を振りかざして争うのが闘いの元。正義の反対は正義なのだ。」と言われていたことです。

確かに、戦争も社会の争いも、SNS上で繰り広げられる攻撃も、自分の正義を主張しています。この地を覆っている正義は相手を否定し傷つけ、時に相手を殺すことも厭いませぬ。宗教こそ戦争の火種ではないかという声もききます。しかし、それは私達の信仰がどこか間違っているからではないでしょうか。改めて、神様がイエス様を通して実現したいと願われた正義は、私達の正義とは異なっていることを感じました。

イエス様は自分を十字架につけた人間の為に「彼らをお赦し下さい」と神に執り成して下さいました。復活後、裏切った弟子たちに現れては「シャローム、平安あれ」と告げられました。このもたらされた恵みを深く味わう中で、自力ではできないことですが、平和と口づけをする正義を祈り求めていきたいと願います。

牧師 大月 康子

ミニ寄稿 「上を向いたら」

「ため息も上を向いたら深呼吸」。この言葉を初めて知った時、光がパッと射ってきて、目が覚めたのがわかりました。我慢して飲み込んだ言葉も、何か胸の奥に巣食ったもやもやした気持ちも、大声で叫びたくなったのに抑え込んで溢れそうになっている言葉も、上を向いて全部息にしてハアッと吐き出します。古い嫌なものを体の隅々から思いっきり出したあとは、大きく空気を吸い込んで清々しく気持ちのいいもので全身を一杯にしましょう。きっと、下を向いていた時には見えなかった、新しい神様からの贈り物に気がつくはず。

(I.S.)

～「敵を愛しやすくするレシピ」～ 岡山宣教の集い信徒セミナーに参加して



5月27日(火)日本イエス・キリスト教団岡南教会において「岡山県宣教の集い」が開催されました。午後から教師・宣教者向けセミナー、そして19時30分より信徒セミナーが30名ほどの参加者のなか行われました。講師は大阪桃谷教会牧師の久保木聡師で、「敵を愛しやすくするレシピ」と題してのメッセージでした。その中で師は「非暴力コミュニケーション」(略称 NVC)という心理学研究から生まれた人間関係構築手法を紹介され、創始者である心理学者マーシャル・ローゼンバーグの生い立ちや理論確立の経緯などを説明、そしてその手法と効果を語られました。

他人への評価が感傷的な主観によって定められているために正しい人間関係が作れない事が問題であるということで観察・感情・ニーズ・リクエストの4つの段階に分けて、コミュニケーションで起こっている問題・ズレを整理していく手法を説明。そしてこの手法を用いて「汝の敵を愛せよ」の御言葉を信じるキリスト者としてどのように信仰的に人間関係を築いていくことが大切かを語られました。

久保木師はNVCの研究を以前より行われており、この難しい主題を楽しく、わかりやすく、そして感動的に語られ、21時まであつという間のひとときでした。直前にもご挨拶しましたが、メッセージ後、「知り合いが居て緊張がほぐれました」と話していただき、参加した恵みにさらに感謝。久保木師のメッセージを岡山教会でも拝聴したいと強く感じた夜でした。(K.Y.)



「手探りの出発～女性会新体制」

2025年度最初の女性会例会を6月15日に行うことができました。すっかり遅いスタートになりましたが、我儘をご理解くださって待ってくださった女性会員のみなさんをはじめ、教会のみなさんに心からお礼を申し上げます。初回の例会は新三役の挨拶に始まり、新年度の行事と会計の提案を通じて、今後の女性会の在り方を模索する歩みになることなどをみなさんと確認することができました。終始穏やかな空気の中、コロナ禍で途絶えたままの行事の復活を検討するなど実り多い感謝の時間となりました。



振り返ると女性の社会進出、男女均等雇用法、ジェンダー論など、目まぐるしく変わる世の中についていけないままに、女性会の一員として、信徒としてどうあるべきなのか何も自分に問うこともなく来てしまったことを、今更のように感じています。今回、女性会長のお話をいただいたのも、今一度、自分の立ち位置を見直すようにと示していただいたのだと受け止めて、お引き受けさせていただきました。

「無理はしない」「頑張らない」をモットーにしてノンビリやっていきたい一方で、それでも「何かのお役に立てるなら」という気持ちで、周囲の動きに対しては敏感でありたいと願う欲張りですが、様々なご意見を聞きながら、信徒として何ができるのか、これからの女性会はどうあるのがいいのかをみなさんと一緒に模索していきたいと願っています。未熟な新米女性会長ですがどうかよろしくお願いします。(I.S.)



この4月から岡山大学に入学されたS.N.兄弟を交えて壮年会の会合が行われました。

N兄は大阪から岡山に入学のため来られ、クリスチャンのご家庭で育たれ、岡山で通う教会を探されて当教会に通うと言って下さいました。N兄の岡山での生活に主が常に共にありますようにお祈りいたします。